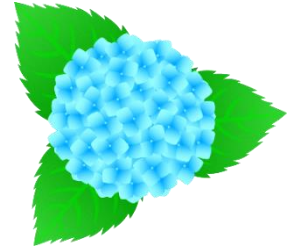




「学問分野」を選択しよう



前期中間考査の結果はどうでしたか。その結果に一喜一憂せず、しっかりと振り返ることが大切です。また、各学年とも、7/1(土)(3年は6/30(金)～)に**進研模試**が予定されています。日頃の学習の成果を、全国レベルと比較する貴重な機会です。十分に準備して臨んでください。

あと約1か月で夏休みがやってきます。夏休みは、学習する上で、得意分野を伸ばしたり、苦手分野を克服したり、基礎学力をつけたりと、やるべきことが多くあります。しかし、進路目標達成のためには、それだけではなく、「**相手を知る**」、「**学習へのモチベーションをあげる**」ことが、今後、大変重要になっていきます。

1、2年生は、6月までに、**来年度の「文型・理型」の選択や選択科目**を決めます。

これらは、将来の自分の進路選択につながる大変大事な選択になります。事前に、先生方の説明をよく聞き、じっくりと自分の興味関心や適性を考え、適切な判断をしてください。そのためには、周囲のアドバイスに耳を傾けたり、大学の募集要項や公式HPを見たりして、様々な情報を集めることが大事です。

まず、将来、大学で専攻したい「**学問分野**」を選択することから始めましょう。これは、2年生についても同様です。また、職業を選択する場合、皆さんの目に触れている職業に目を奪われがちですが、それ以外の職業も数多くあることを踏まえ、**それらに対応できる力(学力、行動力)**をつけておくことが必要です。

「令和5年度進路の手引き」P. 1～4に、主な学問分野と職業との関連について掲載してあるので参考にしてください。



受験について知るために自ら行動しよう

進路希望達成に向けて、オープンキャンパスに直に参加する、WEBのオープンキャンパスに参加する、ホームページを見るなど「**自ら行動する**」ことは、大変重要です。3年生になる前に、各大学の「**オープンキャンパス**」に参加しておくことは、進学重点校の生徒の基本であると言えます。ここ数年は、コロナ禍の影響で対面型のオープンキャンパスや医療体験実習等が中止になっていましたが、今年度は、再開の場合も多く、webの場合も含め、1、2年生は、積極的にオープンキャンパスに参加し情報を収集しておきましょう。特に、医療系を希望している人は、機会があれば、**医療スタッフ体験などの実習**にぜひ参加しておいてください。

オープンキャンパスに参加することで、**受験の知識が増える**ことに加え、**受験勉強に対するモチベーションが上昇**することも期待できます。3年生は、第1志望の学校と、可能であれば、比較する意味で、第2志望以下の学校を見ておくの良いと思います。その際、設備の良し悪しだけではなく、学生の印象も含め、大局的に見るのが大切です。1、2年生は、第1志望は大切ですが、今後、志望は変わる可能性もあるので、**複数の大学の学部・学科**を調べ、**選択肢の幅を広げておく**ことが良いと思います。

自分の興味関心、適性、大学卒業後の職業選択、入試方法、立地条件など、いろいろな角度から考えておきましょう。

<情報収集のポイント>

入試方法、研究内容、施設設備、学費、取得資格、就職状況、過去問 など

入試の方法に加え、各大学の「研究内容」、「講義・実習」の特徴、卒業後の「就職状況」、取得できる「資格・免許(特に教員免許の種類)」、施設設備、学生の生活状況、学費、大学独自の奨学金制度などの情報は重要です。また、推薦・総合型選抜の「過去問」を配信する大学もあるので注意しましょう。



進路希望調査の結果から

5/12(金)を基準日として、第1回進路希望調査を実施しました。右表は、各学年の進路希望の概況です。

各学年共に、**国公立大希望者が60%を超えます**。特に、1、2学年では、70%を超え、国公立志向が強いことが伺えます。また、**未定者が少なく**、進路意識の高まっていると考えられます。

一方で、進路に関する悩みを持っている生徒は、学年とも75%を超えます。その解消が、今後の目標となります。

学習時間については、どの学年でも**学習時間の確保が課題**となっています。学習は「量より質」とは言え、**十分な量の中に質を見出すスタンス**が大切です。

今後とも、**家庭学習が学力の基盤**であるという意識を大切にしたいと思えます。

進路希望	1年	2年	3年
国公立大	77.1%	70.9%	60.6%
私立大	13.3%	17.7%	25.8%
国公立短大	0.4%	2.1%	1.3%
私立短大	2.1%	1.3%	0.0%
高等看護	2.1%	1.7%	4.7%
専門学校	4.2%	4.2%	6.8%
就職	0.4%	0.8%	0.8%
他・未定	0.4%	1.3%	0.0%
合計	100%	100%	100%

3年生 課外授業を有効に活用しよう

大学入試に向けての実力養成を目的とした3学年の前期平常・土曜課外が、5/15(月)から始まっています。希望者対象で、部活動の引退までは部活動を優先となります。

今まで、結果を出した生徒は、例外なく、**学校の授業や課外授業を中心とした学習姿勢**が見られます。塾や予備校は、その補助と考えると良いと思います。ルールを守り、根気強く学習を継続しましょう。

6/27(火)が、**共通テストまで200日**となります。焦らず、確実に準備を進めましょう。



格差社会

最近の小論文キーワードの一つに「格差社会」があります。今回、「格差社会」について、取り上げたいと思います。

「**格差社会**」とは、経済的に豊かな層と貧しい層に二極化し、中間層が減少している社会のことを言います。**世代間の格差、地域間の格差、収入の格差など、様々な格差が問題視**されています。

先進諸国の中では格差の少ない社会と言われてきた日本も、長期不況や、第1次・第2次産業から第3次産業への産業構造の変容、終身雇用制の崩壊などによって格差が広がってきました。**非正規雇用労働者やワーキングプア**(正社員並みに働いても生活の維持が困難で、生活保護の水準以下しか収入が得られない就労者)が増加しましたが、その反面、リスクをとって成功を収めたIT企業の社長など新たな富裕層も現れています。

格差が広がる中、**貧困の現状も多様化**しており、派遣切りなどで住む家(住所)を失うと、新しい仕事を見つけることも難しくなります。ひとり親家庭(母子・父子家庭)では、母親が非正規雇用である割合が高く、**子どもの貧困**にもつながっています。女性は出産・育児のために退職すると、その後に正社員として再就職することが難しい場合が多くあります。

格差を固定化させないためには、社会保障を充実させることによる**セーフティネットの強化**、女性の出産・育児を支える**労働環境**、教育の無償化などによる**教育機会の均等**などが必要だと考えられます。

いかがですか。一口に「格差」と言っても、多くの面があり、それに対して、どのように考え、対応を考えていくことは、単に受験のためではなく、**これからの社会を構築するために大切なこと**だと考えます。

(参考 第一小論文 Net 小論文入試情報ライブラリー <https://daiichi-shoron.net/03library-3.html#>)

お詫び

「進路だより第2号」および「進路の手引き」において、3学年の模試計画で、9/8(金)～9(土)進研駿台マークが漏れていました。訂正し、お詫びいたします。